

事務事業名	県管理道路整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	国県事業G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	坂田 洋一	
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:140:0:8 国・道・県道整備事業	
	目的・対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。		
				1:015:2:6 国・道・県道整備事業負担金		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
県道 県民・道路利用者	県道整備により利便性を確保する。(移動時間短縮、移動圏域拡大) 道路交通の安全性を確保する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	県道の改良事業・交通安全事業の調整等 ・県と連携し、地元調整(要望、テスト、用地交渉、契約、工事、通行規制住民周知等)を行う。 ・事業負担金の会計事務
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 県道改良事業の調整(県・地元) 事業負担金の会計事務	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 事業負担金については、有利な起債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 事業実施箇所数	箇所	17	22	22	22
イ 県道計改良率	%	74.3	74.3	74.3	74.3
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】合併特例債 県事業負担金 16,500千円 幹線改良:事業費の10% 生活関連:事業費の15% 都計事業:事業費の7.5%	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	7,100	14,600	15,600	14,200
		その他	千円				
		一般財源	千円	400	775	900	800
	事業費計		千円	7,500	15,375	16,500	15,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	県道改良率は、例年どおりの水準で推移している。引き続き、県と連携し着実な事業進捗を図る。
② 事業実施するうえでの課題	スムーズな事業進捗となるよう、市・地元の協力体制を万全に整える必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	自動車依存率の高い島根県においては中山間地域の日常生活や地域間交流の強化・拡大に直結するものであり、引き続き市、地元の協力体制を整え、スムーズな事業進捗を図る。